

研究テーマ	自ら主題を設定する主体的な学びや他者との協働を通して自らの考えを広げることができる対話的な学びの指導の在り方 ー中学1年「モダンテクニックで『感情』を表そう」の実践を通してー
-------	--

常総市立水海道西中学校 教諭 海老原 淳

I 研究テーマについて

中学校学習指導要領解説美術編によれば、「[共通事項]を位置付けた各領域の指導として(1)ア「形や色彩、材料、光などの性質や、それらがもたらす感情を理解すること」イ「形や色彩の特徴などを基に、対象のイメージをとらえること。」とある。本研究のテーマである生徒自ら表現したい『感情』を主題とし、主題を自ら決定することで自主的・主体的な創作活動になるようにする。また、視覚的な資料や見通しを持って活動できるよう授業の流れを掲示し、ユニバーサルデザインを意識した板書構成にする。そうすることで、誰もが見通しを持って取り組み、自ら主題を設定することで【主体的な学び】が実現できると考える。

次に、創造活動の中に言語活動を取り入れ、生徒同士の協働によって作品の思いや良さを導き出す鑑賞活動を取り入れる。また、ICT機器を使って生徒が自分の思いを発表することで共有が図られ、考えを広めることを目指した授業展開にする。そうすることで、他者との協働を通して、自らの考えを広げ深める【対話的な学び】が実現できると考える。

以上のことから、「主体的・協働的な学習」を可能にするために、表現したいことを『主題』として生徒自ら設定させ、主題に迫るために必要な技法を教え合いながらグループで習得させ、共有できる授業展開を設定し実践した。

II 研究の実際

1 題材名 モダンテクニックで「感情」を表そう

2 題材の目標

- (1) モダンテクニックを利用した作品づくりに興味を持ち、意欲的に表現しようとする。
(美術への関心・意欲・態度)
- (2) 表現したい自分の感情に合った技法や材料、色や形などを自ら選択して構想を練るなど表現方法を工夫することができる。
(発想や構想の能力)
- (3) 絵の具や技法に使う道具を適切に扱い、形や色で自分が表したい感じを意識しながら作品に反映させ、主題に迫ることができる。
(創造的な技能)
- (4) 自分と他者の作品を鑑賞し、作品の造形の要素や形や色彩などから生じる感情を基に話し合ったり、他者の意見を聞いたりすることができる。
(鑑賞の能力)

3 題材について

(1) 生徒の実態

本学級は、授業態度が良く、毎回真剣な態度で取り組んでいる生徒が多い。しかし、男子の数名には、絵の具の扱いが面倒に感じていて、丁寧さに欠ける生徒もいる。

実態調査（1年1組 男子17人 女子14人 計31人 10月13日実施）

1 絵の具を使って表現することは好きですか。

	好き	16人	嫌い	3人	どちらとも言えない	11人
2	自分が考えたり思ったりしたことを絵（形や色など）で表現することは得意ですか。					
	得意	7人	苦手	14人	どちらとも言えない	9人
3	「感情」を絵に表すとしたら、どんな感情を表現してみたいですか。					
	（複数回答）					
	喜び	14人	楽しい	14人	笑い	12人
	驚き	7人	感謝	7人	冷静	6人
	悲しい	5人	怒り	5人	恐怖	5人
	恨み	5人	寂しい	3人	優しさ	1人
	不安	1人				

実態調査の結果を見ると、自分が考えたり思ったりしたことを絵で表現することが苦手と感じる生徒が半数近くいる。絵に表すことを得意としない生徒にモダンテクニックの造形活動で、表現することがおもしろく感じてもらえればと考える。

(2) 題材観

本題材は、学習指導要領の〔共通事項〕を位置付けた各領域の指導として(1)ア「形や色彩、材料、光などの性質や、それらがもたらす感情を理解すること」イ「形や色彩の特徴などを基に、対象のイメージをとらえること。」を受けて設定したものである。

色彩の種類や性質を学び、それらがもたらす感情やイメージを理解する。次に、モダンテクニックの技法を使い、筆では表せない様々な形や色などの組み合わせで、自分で設定した「感情」を主題として、それに迫る表現活動にしていきたい。

また、作品を鑑賞し合い、自分の表そうとした気持ちを発表したり、他の生徒の意見を聞いたりし、作品の造形的なよさや美しさなどを感じ取る経験を共有し、味わうことができる題材であると考ええる。

(3) 指導観

自分が設定した感情を表すためにはどのような色彩や効果的な技法を使えばよいかを試行錯誤していく過程を通じ、多彩な表現方法を体感してほしい。そのために、まずは色彩の種類や効果について学び、7種類のモダンテクニックの技法を習得させ、表現のための幅広い選択肢を与えたいと考えている。

しかし、いつもの絵画的な描写で表すのではなく、偶然にできた抽象的な形や色で表現するので、生徒を悩ませることが予想される。だからこそ、一つとして同じものができないおもしろさがあるモダンテクニックで、生徒それぞれのもつ思いを自由にのびのびと表現することができるように取り組ませていきたい。

さらに、お互いの作品を鑑賞し、作品の造形の要素や形や色彩などから感じることを話し合ったり、他者の意見を聞いたりする言語活動を活発に行うことができる活動を通して、一人では気づかなかった視点や概念で作品を味わい、その良さや表現意図などを感じ取る力を育てていきたい。

4 題材の評価規準

関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
色彩についての知識を身に付け、色の感じ方や組み合わせの効果を興味をもって考えようとする。	モダンテクニックの技法を使い、ねらいどおりの「感情」を表現することができる。	モダンテクニックの技法を理解し、適切に道具を使い、表現できる。また、技法に使う道具を適切に扱うことができる。	自分と他者の作品を鑑賞し、作品の造形の要素や形や色彩などから生じる感情を基に話し合うことができる。

5 指導と評価の計画（3時間扱い）

時間	学習内容・活動	評価規準・【評価方法】
第1次 ①	色彩の種類や分類を知り、様々な色のイメージや組み合わせによる効果を学ぼう。	・色彩についての知識を身に付け、色の感じ方や組み合わせの効果を興味をもって考えている。 ■【観察】
第2次 ①	モダンテクニックの技法を学び、道具の使い方を学ぼう。	・モダンテクニックの技法を理解し、適切に道具を使い、表現している。また、技法に使う道具を適切に扱い、主題に迫っている。 ■【作品】
第3次 ①	モダンテクニックの技法を使い、「感情」を表現してみよう。	・モダンテクニックの技法を使い、ねらいどおりの「感情」を表現している。 自分と他者の作品を鑑賞し、作品の造形の要素や形や色彩などから生じる感情を基に話し合っている。 ■■【作品、鑑賞カード】

6 指導の実際

(1) 本時の目標

モダンテクニックの技法を使い、「感情」を表現することができる。

(2) 準備・資料

- ①スケッチブック②参考作品③制作手順表④名札⑤モダンテクニック道具
⑥水彩絵の具⑦鑑賞カード⑧実物投影機⑨自己評価カード

(3) 授業の展開

学習内容及び活動	支援・指導上の留意点と評価の観点	資料
1 3分間スケッチを行う。	・授業の始めとして、落ち着いた雰囲気で作成活動が始められるようにする。	①
2 本時の学習内容を確認する。	・参考作品を紹介し、イメージを持ってねらいに迫れるようにする。	②

<p>モダンテクニックの技法を使い、「感情」を表現しよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 制作手順表を掲示し制作手順を説明する。授業の流れが黒板の表を見ればいつでもわかるようにする。 	<p>③</p>
<p>3 グループごとに既習したモダンテクニックを使い主題を決め、制作する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> グループで、教え合ったり、認め合えるような雰囲気的活動するよう支援する。 	
<p>(1) 主題を設定する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 作品の名札を配付し、いくつかの例を参考に表そうとする「感情」を考えさせるが、制作過程で主題を決定しても良いことを助言する。 	<p>④</p>
<p>(2) 技法を使って、いろいろ試す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 滞っている生徒やグループがいれば模範指導をしたり、前回の学習を想起させたりする。 	<p>⑤</p>
<p>①ドリッピング ②バチック ③デカルコマニー ④スパッタリング ⑤吹き流し ⑥スタンプング</p>	<ul style="list-style-type: none"> 生徒それぞれのもつ思いを自由にのびのびと表現することが目的であって、全ての作品を肯定的にとらえながら助言する。 	<p>⑥</p>
<p>(3) 作品に名札を付ける。</p>	<p>㊦モダンテクニックの技法を使い、ねらいどおりの「感情」を表現している。 (発想や構想の能力 作品)</p>	
<p>4 グループで作品紹介をし合い、グループの代表作品を選び、全体で鑑賞会をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 鑑賞カードに自分の作品に対する思いや制作した感想を全員が言えるように項目を入れ、話し合いが進められるようにする。 	<p>⑦</p>
<p>(1) グループ内での鑑賞会をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 実物投影機を使い、グループ代表の作品をテレビに映し、見やすくする。 	<p>⑧</p>
<p>(2) グループで代表作品を選ぶ。</p>		
<p>(3) 代表作品をクラス全員で鑑賞する。</p>	<p>㊦自分と他者の作品を鑑賞し、作品の造形の要素や形や色彩などから生じる感情を基に話し合っている。</p>	
	<p>(鑑賞 鑑賞カード、観察)</p>	
<p>5 本時の学習を振り返り、自己評価カードに記入し、次時の学習内容を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 集中して取り組めたか、思うように作業が進んだかを自己評価させる。 	<p>⑨</p>
	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習を振り返り、次時の学習内容を伝え、関心、意欲をかき立てる。 	

III 研究の成果と課題

1 成果

授業後のアンケートより、自分で主題を設定することで意欲的に取り組めたと回答していた。絵の具の扱いが苦手と答えていた生徒も、表現したいことを自ら設定することで、楽しく取り組むことができた。また、グループで教え合いながら、制作途中で作品を鑑賞し合うなど刺激しながら活動することで、作品の造形の要素や形や色彩などから感じることをしゃべりながら活動することで言語活動を活発に行うことができたと考えられる。「それはどうやってできたの。」「ビー玉を転がして使ったんだよ。」などグループ内での会話が聞こえてくるなどまさに『対話的な学び』に広がったことを感じた。

最後の鑑賞会の時間では、グループの代表を選抜し、クラス全員の前に立ち、発表するスタイルにした。そうすることで、自分の作品の良さを自信をもって発表することができたことと、鑑賞している生徒も集中して作品を見入っている姿が見られた。今後の、鑑賞の活動への意欲付けになった。

(1年1組 男子17人 女子14人 計31人 10月28日実施)

1	自分で主題を設定することで意欲的に取り組みましたか。
	できた 23人 どちらとも言えない 8人 できなかった 0人
2	モダンテクニックの利用して表現することは楽しかったですか。
	楽しかった25人 どちらとも言えない 5人 楽しくなかった1人
3	グループ鑑賞会では、自分が考えたり思ったりしたことを発表できましたか。
	できた 27人 あまりできなかった 4人 できなかった 0人
4	友達の作品を鑑賞して、作品の良さや工夫点を考えることができましたか。
	できた 25人 どちらとも言えない 6人 できなかった 0人

2 課題

モダンテクニックを教える授業では、協働での活動をしようと考え、グループの中で教え合えるように道具と簡単なヒントのみしか与えず自由に体験させた。技能の習熟度には多少のばらつきがあったように思えた。グループの中でアイデアがある生徒がいると、たちまち工夫した使い方や表現の幅が生まれる。しかし、そうでなければ、なかなか冒険をしない作品になりがちであった。つまり、評価は、出来上がった作品だけではなく制作の過程も考慮しているものの、グループによって評価の偏りが若干感じられた。

また、本時の授業の中で制作とグループ鑑賞会と全体での鑑賞と盛りだくさんであることから、時間の節約を考え、溶いた絵の具は毎時間準備しておくことにした。時間内には収まったものの、今後の課題である。

※参考資料 1

<授業での生徒の様子>



『感情』の中から生徒自ら表現したいことを「主題」とし、どの技法を使えば良いか考え、判断し、表現する活動が見られた。



モダンテクニックの技法を協働の中で学び、効果的な方法を自ら探る場面を設定することで、生徒同士で解決する姿が見られた。



グループで鑑賞し、お互いの工夫したところや作品への思いを発表し合う言語活動の機会を設けることで技法の効果や意図を共有化することができた。



作品の発表の場では、実物投影機を使うことで、みんなにわかりやすく自分の思いや考えを説明することができた。

※資料2 <生徒の鑑賞カードと作品>

①グループ内で鑑賞し合おう。

◎発表の仕方（自分の作品を見せながら）

- ・私は、『〇〇』について表現してみました。
- ・工夫したところは ~~~~~です。
- ・表現した感想は ~~~~~です。

友達の作品を見て「思ったこと、考えたなあ、学んだこと」を書こう！
 感情のままに描いていて、画的に描くことが出来たかと思いました。
 感情に力、色は寒色にして、暖色は少なくて良かったです。

②グループで代表作品を選ぼう。

◎意見の言い方

自分の思いが表現できず、
 配色に工夫がなかった。



①グループ内で鑑賞し合おう。

◎発表の仕方（自分の作品を見せながら）

- ・私は、『〇〇』について表現してみました。
- ・工夫したところは ~~~~~です。
- ・表現した感想は ~~~~~です。

友達の作品を見て「思ったこと、考えたなあ、学んだこと」を書こう！
 同じ感情を主題としていても、みた時の感じ方が
 とて違うのであもしろいと思いました。

②グループで代表作品を選ぼう。

◎意見の言い方

主題が同じでも
 感じ方が違う！

①グループ内で鑑賞し合おう。

◎発表の仕方（自分の作品を見せながら）

- ・私は、『〇〇』について表現してみました。
- ・工夫したところは ~~~~~です。
- ・表現した感想は ~~~~~です。

友達の作品を見て「思ったこと、考えたなあ、学んだこと」を書こう！
 あまり多くの色を使わなくてもその感情が伝わってきたので、よかったと思います。
 ・赤、黄、緑の色が楽しくなる色だったのでよかったと思いました。

②グループで代表作品を選ぼう。

◎意見の言い方

次の作品は生かす！
 工夫が見えたわ。

